極 (口上書)

(略称)

カナダとのワーキング・ホリデー査証料免除取極

昭和六十一年	昭和六十一年	昭和六十一年	
八月	三月	月	
八日生	日か	十日	
告示	効力発生	オタワで	

二五九	2 査証の申請	2
二五八	1.ワーキング・ホリデーのための一次入国査証の無料発給	1
二五八	カナダ側口上書	カナ
三五七	終了	8
二五七	停止	7
二五六	相手国入国者に対する便宜供与	6
二五六	国内法令の遵守	5
二五六	滞在許可の付与及び延長	4
二五六	申請者の語学知識と査証の発給との関係	3
二五六	査証の申請	2
二五五	ワーキング・ホリデーのための一次入国査証の無料発給	1
二五五	日本側口上書	日本
ページ	目 次	
(外務省告示第二九八号)	外	
	昭和六十一年 八月 八日 告示	
効力発生	昭和六十一年 三月 一日 効力	
1	E 7 7 - 1 5 2	

カナダとのワーキング・ホリデー査証料免除取極

終了	停止	相手国入国者に対する便宜供与	国内法令の遵守	滞在許可の付与及び延長	申請者の語学知識と査証の発給との関係
	二六〇	二五九	二五九	二五九	二五九

7 6

(在カナダ日本国大使館からカナダ外務省あて

の

口上書)

(訳文)

有 ことを す う 文 促 し 促 することを外務 + て休 八供する 化 進すす 本国 る目 進 在 及 す 力 年三月一日 希 暇 る 政 ナ 的 に び る 望し を有 を過 との ダ日 休 ことを希望 た 府 暇 般 め が する 7 の ごすため 精 本 的 カ 付 な生 ナ 神の下に、 日 国 省 から 本国 カナ 随 ダ ワー 大使館 に 的 し、 市 活 相 ダ 側 E 様 とカナ 通報する光栄を有する。 ‡ 民 互主 市 面 また、 は、 ン 日 式 グ・ 民 本 ح を 日 特 の日 国に 理 に 本 ダとの 外務 義に基づき し 解す ホ て仕事 カナダ 力 国とカ 本国 リデ 八人国 + 省 る À 間 に ため 1 に Ĺ 市 敬 の ナ の 民が ダ 意を 次の措 の の 従 青 入国 ため 事 ó ځ 層 か 业 ~ つ、 す 長 车 の 緊 麦 知に 置 に る 層 間 の 密 するとと をと 広 関 制 ت ح 対 旅 な の 協 し、 行 ゎ 範 度 L 相 を設 を可 資金 る用意 な機 日 たり主 互 力関係 千 本 ŧ 理 いける 会を 九 能 を 国 解 百 を に 補 ح の を

1 日 で 間 本 有効 発 国 給する。 政 府 なワー は、 次 + の各要件を満たす者に対 ン グ • ホ ij デ 1 の ための 一次入国査証 Ĺ 発 給日から を

- (I) カナダに居住するカナダ市民であること。
- (II) す ること。 定 期 間 H 本 国 に お Ų١ τ 主とし て 休 暇 を過ご す 意図 を 有
- (III) る 及 び二十五才を含 査 証 が年 申 請 船制限 の 時 の を三十 む。)で 年 · 齢 が 十八八 才 あること まで延 才 か でらニ 長することに 日 本 +国 五 一才ま 政 府 同 で の 権限 意 (十八 する の 才 場 あ

reciprocal basis, from the first of March 1986, aspect of their holiday in order to supplement and also engage in employment as an incidental primarily for a holiday for an extended period working holidays which are intended Canada, and wishing to provide arrangements for general way of life of Japan for the purpose Canadian youth, to appreciate the culture and tunities for Canadian citizens, particularly Canada, desirous of providing wider opporcloser co-operative relations between Japan and Government of Japan, in a spirit of promoting the following measures with respect to the entry their travel funds, is prepared to possible for Canadian citizens to enter Japan promoting mutual understanding between Japan and the honour to inform the Department that the to the Department of External Affairs and has Canadian citizens into Japan: Embassy of Japan presents its compliments take, on a to make it

- 1. The Government of Japan will issue, free of charge, a single entry visa for the working holiday valid for a period of one (1) year from the date of issue to persons who satisfy each of the following requirements:
- be Canadian citizens who are resident in Canada;
- (II) intend primarily to holiday in Japan a specific period;
- (III) be aged between eighteen (18) and twenty-five (25) years, both inclusive, at the time of application for a visa except in those cases where the competent

合 を除くご

カナダとのワー

キング・

ホリデー

查証料免除取極

(IV) 符 を 有 購入す 効 な 旅 る 券 ため 及び の 帰 + 国 分 の な た 8 資金を の 旅 所持する 行切符又 ح は この ځ ょ う な 切

(V) 相 当な 日 本国に 資金 (医 おける最 療 を含む。)を所持すること 初 の滞 在 期 間 の 生計 を 維 持 す る た め の

(VI) 健 康 で あ Ĩ, か つ、 健 全 な 経 歴 を 有する こと

2 事 る は 面 使 1 接 必 節 に 要 团 を 14 受け ・う査 へなと に対対 る。 ŧ し 証 て行 は の 申 資 ゎ 請 格 n は、 決定 ることが 在 カナ の た a) V 必 ダ 日 要とさ 本 同 使 国 'n 外 飾 交使節 团 の ま た、 代 表 団 者 又は 申 に 請 ょ 者 領

4 3 給 初 六 を 申 B 偤 本 拒 請 月 玉 否 者 まで [政府 こされ は、 の は、 な H 期 ¢, 本 間 語 1 の に の 日 6 知 本国 う 識 査 の 欠如 に 証 お を ij 有 の みを る す 滯 á 在許 理 カ ナ 由 ダ 可 ح 市 を し 付 民 て 与 に 査 対 証 し の 最 発 ま

5 入国 13 ン ح H ح ٠ L 本 を要請 朩 た 玉 リデ カナ 政 府 す ì ダ は、 á 市 の 民 ヮ た が め 1 日 + の 本 制 ン グ 度 国 の の • 目 法 ホ 的 令 IJ に を デ í 反 遵 す 守 査 る 証 し 仕 に ょ 事 か に ŋ つ 従 H 本 事 ワ 国 し 1 な + に

の 遵 守 法 令

びの滞 延付年 長 及 可

た

適

当

「な場

合に

は

六

(箇月

ま

で

の

延

長

(を認

め

る

関発と語申 係給査学請 と証知者 のの識の

6 玉 地 H た 社 本 カ 숲 囯 ヘナダ 团 政 体 府 が 市 は、 民 ヮ の 1 日 た + 本 め ン 国 適 ブ に 切 ٠ お な ホ H 相 ŋ る 談 デ 青 の 1 4 査証 便 年 宜 đ を に 体 与え ĺ, ょ ij 文 化 る Н ことを奨 本 4 国 体 [に入 及 び

二五六

agree to extend the limitation of age up to thirty (30) authorities of the Government of Japan

years;

- (IV) possess a valid passport and a return which travel ticket or sufficient funds with to purchase such a ticket;
- during the maintenance, including medical expenses, possess reasonable funds for their and period of initial stay in

3

have good health and מ sound background

(VI)

- eligibility. ment of Japan in Canada and applicants will be a diplomatic or consular mission of the Governparagraph l above will be required to be made to tatives of such mission to determine their interviewed, when necessary, by the represen-2 Application for the visa mentioned
- solely on the grounds of their of the Japanese land. ω Applicants will not be refused the visa lack of knowledge
- paragraph l above permission to stay in Japan Canadian citizens who have the visa mentioned extension of and will also grant, where appropriate, for an initial period of up to six (6) The Government of Japan will grant ď to six (6) months. months, ij
- the Canadian citizens who have entered Japan on the employment that is contrary to the purpose regulations of Japan and not to engage in working holiday visa to comply with the working holiday arrangements The Government of Japan will require laws and of.
- youth, cultural and community organizations Japan to provide appropriate counselling facilities for Canadian citizens who have cultural and community organizations The Government of Japan will encourage ä

励

する。

は、外交上の経路を通じてカナダ政府に直ちに通告する。又は一部を一時的に停止することができる。このような停止7.日本国政府は、公の政策上の理由により前記の規定の全部

在カナダ日本国大使館は、以上を申し進めるに際し、ここに告をもつて前記の諸規定を終了させることができる。8 日本国政府は、カナダ政府に対し、書面による三箇月の予

重ねて外務省に向つて敬意を表する。

千九百八十六年一月十日にオタワで

entered Japan on the working holiday visa.

- 7. The Government of Japan may suspend the foregoing provisions in whole or in part temporarily for reasons of public policy. Any such suspension will be notified immediately to the Government of Canada through the diplomatic channel.
- to the Government of Canada.

 The Embassy of Japan avails itself of this opportunity to renew to the Department of External Affairs the assurances of its highest consideration.

foregoing by giving three months' written notice

The Government of Japan may terminate the

Ottawa, January 10, 1986

カナダとのワーキング・ホリデー査証料免除取極

力 t ダ 外務 省 か 5 在 力 t ダ 日 本 国大使館 あ τ の 口 Ŀ

書

二五八

カナダとのワーキング・ホリデー査証料免除取極

(訳文)

月 暇 及 促 を を 休 することを 促 力 を 進 進 有 ታ 外 大使館 Ħ て、 す の 過 す す ダ 務省は、 こごす る ያነ るため日 政 般 6 的 府 日 ヮ 随 との精神 に通報 相互主義に 本国民 1 的 ためカナダに入国 希望し、 が、 な生活 + 側 在 面 本 ン カ カ とし . 様式 する光栄を有する。 国 の グ の ታ t カ 民、 ダ ダ ま 下 ナ τ た、 を に、 日 基づき ح ホ 仕事 ダ IJ 理 特 H 本 ^ デ 日 解 に 本 国 カ の 1 に し、 大 次の措置 本国民 す 日 ナ 国 入国 従事 る 本 使 の ح かつ、 と日 た た の 館 の に 8 が 青 することを め 間 に 関 · 長期 .'少年 敬意 をとる用 の制 の 本 の し 旅 国 行 層 に ځ 層 を 度 に 対 Ŧ を 資 ゎ 広 の 緊 表 金 意 九 設 す 可 た 範 し 間 密 を 百 を ij á け 能 な カ の な 有 主 ナダ る 補うために 機 ح 八 に 相 協 + とし 力関 すること ۲ する目 슾 互 とも 六年三 の文化 理 ع を 提供 を て 解 係 希 的 休 を を

- 1 無 料 车 カ 間 で t 発 有効なワー ダ政府 紿 する。 は、 + 次 の各 ン グ • 要件を満たす者に対 ホリデ 1 のための L 次入国 発給日 査 証 から を
- (i) 日 本 国 に 居 住 する日本国民であるこ
- (ii) す ること。 定 期 間 カ + ダ に おい τ 主 とし て休暇を過ごす 意図 を 有
- (iii) 当 及 局 び二十 査 が 証 年 申 五 請 制 才を含 の 限 時 を三十才 の む。)であること (カ 年 船 が まで延長 + 八 八才か することに ら二十 ハナダ 五 才 政 同 府 ま 意 で の 権限 する場合 7 広ある 亢 才

Japan, desirous of providing wider opportunities of Japanese citizens into Canada: reciprocal basis, travel funds, is prepared to take, their holiday in order to supplement their engage in employment as an incidental aspect of for a holiday for an extended period and also for Japanese citizens to enter Canada primarily Holidays which are intended to make it possible and wishing to provide arrangements for Working mutual understanding between Canada and Japan, of life of Canada for the purpose of promoting youth, to appreciate the culture and general way for Japanese citizens, particularly Japanese closer cooperative relations between Canada and Government of Canada, in a spirit of promoting the honour its compliments to the Embassy of Japan and has the following measures with respect The Department of External Affairs presents to inform the Embassy that the from the first of March 1986, on to the entry

- the date of issue to Holiday valid for a period of one (1) year from of charge, a single entry visa for the Working following requirements: The Government of Canada will issue, persons who satisfy each of
- Be Japanese citizens ₩ho are resident
- (ii) Intend primarily to holiday specific period; in Canada for
- (iii)Be aged between eighteen (18) and twentytime of application for a visa, except in five (25) years, both inclusive, at the those cases where the competent

符 を 有 効 な旅 ス ð んるた 券及び め 帰 の + 国 分 の な資 た めの旅行 金 を所持 切符又はこ す る ح っの ような 切

(iv)

を除く。)。

- (v) 相 力 ታ な ダ 膂 金 に (医 お け 療 る 費 最 を含 初 の 滯 む。)を所持す 在期 間 の 生 計 ること。 を 維 持 す る た め の
- 2 は、 (vi) 使 1 必 飾 に 健 要 团 Ç١ 康 . う なときは、 K で 査証 対 あ ý, L て行 の 申 か ゎ 請 つ、 資格決定の れることが は 健 全 在 日 な ため、 本国 経 必 歴 要とされ、 カ を t 固 有 . 使 Ħ す 節 外 ること。 交使 団 また の 代 節 表 团 公者に 又は 申請 ょ 者 領
- 3 を 拒 申 否 請 さ 者 n は、 ない 英語 の 知 識 の欠如の みを理由とし て査証 の発 紿

る

面

接

を受け

- 4 た、 六 簂 カ 適当な場合には、 月 ナ まで ダ 政府 の は、 期 間 1 の に 力 六箇月までの延長を認 いう査証を有する日 ナダにおける滞在許可 本 B 国 を 民 付 に 対 与 (し最 し ま 初
- 5 入 国 ブ ことを 力 し ホ ታ た日 I) ダ政府 要請する。 デ 本 1 の 国 は、 民 た が め ワ 1 カ の ナダ 制 + 度 ン グ・ の の 法 目 令 ホ 的 É に IJ デ 反 遵 す 守 1 んる仕 査証 し、 に 事 か より iz つ、 従 ワ 1 事 カナダに i + な ン
- 6 玉 地 域社 力 ナ た 日 会 ダ 本 団 政府は、 国 体 が 民 のた ワ 1 力 め + ታ 適 ダ ン 匇 グ に な ٠ お 相 H ホ 談 り る 青 の デ 1 业 便 年 宜 査 証 Ŧ を与え 体、 に より 文化 る ۲ 力 ナ 4 とを奨励 体及 ダに入 び

- agree to extend the limitation of age up to thirty (30) years; authorities of the Government of Canada
- Possess a valid passport and which travel ticket or sufficient funds with to purchase such a ticket; a return

(iv)

3

- Possess reasonable funds for their during the period of initial stay in maintenance, including medical expenses,
- Have good health and a sound background

(TA)

- eligibility. ment of Canada in Japan and applicants will be a diplomatic or consular mission of the Governparagraph 1 above will be required to be made to tatives of such mission to determine their interviewed, when necessary, by the represen-Application for the visa mentioned in
- of the English solely on the grounds of their lack of knowledge Applicants will not be refused the visa or French languages.
- Japanese citizens who have the visa mentioned extension of up to six (6) and will also grant, where appropriate, an for an initial period of up to six (6) months, paragraph l above permission to stay in Canada The Government of Canada will grant months. 'n
- Japanese citizens who have entered Canada on regulations of Canada and not to engage in Working Holiday visa to comply with the the employment that is contrary to the purpose of Working Holiday arrangements The Government of Canada will require Laws and
- Canada to provide appropriate counselling youth, facilities for Japanese citizens who have cultural, and community organizations The Government of Canada will encourage

カ

ナダとのワー

7

8

カナダ政府は、

日

外務省は、

以上を申し進めるに際し、

ここに重ねて在カナダ

告をもつて前記の諸規定を終了させることができる。

日本国政府に対し、書面による三箇月の予

channel.

本国大使館に向つて敬意を表する。

する。

カナダとのワーキング・ホリデー査証料免除取極

7 は、 又は一部を一時的に停止することができる。このような停止 カナダ政府 外交上の経路を通じて日本国政府に直ちに通告する。 は、 公の政策上 の理由により前記の規定の全部

千九百八十六年一月十日にオタワで

- temporarily for reasons of public policy. Any such suspension will be notified immediately to foregoing provisions in whole or in part entered Canada on the Working Holiday visa. the Government of Japan through the diplomatic The Government of Canada may suspend the
- consideration. Embassy of Japan the assurances of its highest notice to the Government of Japan. itself of this opportunity to renew to the the foregoing by giving three months' written The Department of External Affairs avails

The Government of Canada may terminate

Ottawa, January 10, 1986

のために入国し、付随的側面として仕事に従事することを可能にするワーキング・ホリデー制度の この取極は、日本国政府とカナダ政府との間で相互主義に基づき、両国の青少年が主として休暇

カナダとのワーキング・ホリデー査証料免除取極